

日本地域経済学会 第30回全国大会プログラム

今大会は、先進的に過疎対策が進められてきました島根県で実施します。大会実行委員会で企画頂いた地域公開シンポジウム、エクスカーションでは、最新情報、現地の取り組みを知ることができます。また、自由論題報告では、日頃の会員の研究成果を発表頂きます。近年で最も多く16報告ございます。共通論題シンポでは、今日的課題を見据えつつ、新たな切り口で地域経済を考える企画になっております。沢山の会員にご参加頂きたく思っております。宜しくお願いします。

日程：2018年12月8日（土）～10日（月）

場所：島根大学 松江キャンパス (<http://www.shimane-u.ac.jp/access/>)

大会実行委員会（現地問い合わせ先）

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

島根大学法文学部法経学科 渡邊 英俊

TEL&FAX: 0852-32-6167 E-Mail: hi.watanabe@soc.shimane-u.ac.jp

大会参加費（資料代） 1,000円

— 大会スケジュール —

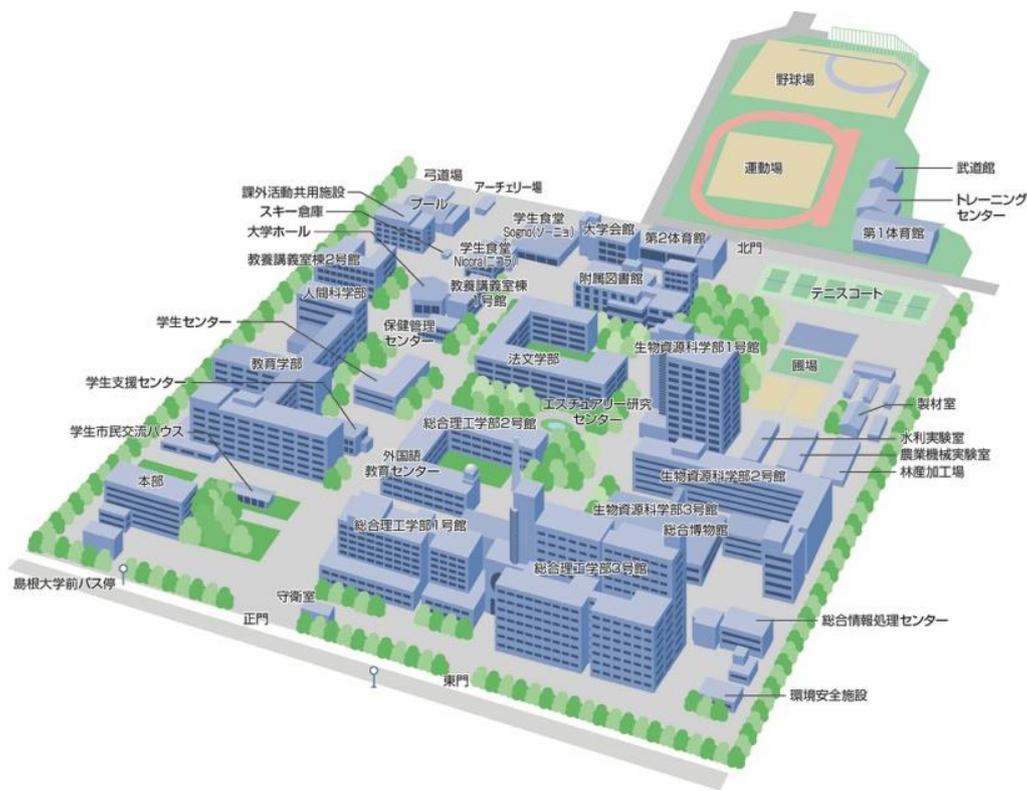
◇12月8日（土）

- 09:00～12:00 理事会 : 法文学部棟1階 115 地域交流スペース2
- 13:00～16:30 地域公開シンポジウム : 大学ホール
- 16:40～17:40 総会 : 大学ホール
- 18:30～20:30 懇親会（参加費 5000円） : ホテル白鳥（松江しんじ湖温泉駅すぐ）

◇12月9日（日）

- 09:00～12:00 自由論題報告 : 教養講義室棟2号館 1階 2階
- 13:00～16:00 共通論題シンポジウム : 大学ホール
- 16:00～ 自由論題授賞式 : 大学ホール

◇12月10日（月）エクスカーション



「人口減少時代の地域再生」

高度経済成長期の日本で「過疎」が社会問題となってから半世紀が経った。日本の人口は2008年にピークに達し、依然として社会増が続いている首都圏を除けば、全国的に自然減と社会減による人口減少が常態化する時代となった。また海外でも、隣国の韓国では首都圏への一極集中が著しく、出生率の低さや若年層の雇用問題の深刻さなど、日本の現状と重なるところが大きい。

日本の過疎問題は島根県旧匹見町(現益田市)から始まったとされる。島根県では1963年のいわゆる38豪雪を機に挙家離村が相次ぎ、現在では「限界集落」化している地域も少なくない。山陰地域では、このような全国に先駆けて始まった「人口減少」という困難な状況の中で、危機意識を持った地域から先進的で創造的な取り組みが始まり、各地で確かに実を結んできた。本シンポジウムでは、人口減少時代における地域社会の維持・再生に向けて、住民、コミュニティ、行政、研究者のそれぞれの立場から、山陰地域や韓国の取り組みを紹介し、地域再生の可能性を展望したい。

日時：2018年12月8日(土) 13時～16時30分

会場：島根大学 松江キャンパス 大学ホール

パネリスト

大江 和彦 (海士町 町長)

心ひとつに！みんなでしゃぼる島づくり (仮)

高岡 裕司 (吉田ふるさと村 代表取締役社長)

地域密着型第3セクター (株)吉田ふるさと村の歩み

田中 輝美 (ローカルジャーナリスト)

「関係人口」の可能性 (仮)

具 滋仁 (韓国忠南研究院 研究委員・忠南ムラづくり支援センター長)

韓国における農村再生の取り組みとローカル・ガバナンス (仮)

コーディネーター

多田 憲一郎 (鳥取大学地域学部 教授)

タイムスケジュール

13時 開会宣言、学会会長挨拶、開催校挨拶

13時20分～13時30分 趣旨説明・パネリスト紹介

13時30分～14時20分 パネル報告(前半)

14時20分～14時35分 休憩、出雲高校ポスター発表

14時35分～15時25分 パネル報告(後半)

15時25分～15時40分 休憩、出雲高校ポスター発表

15時40分～16時30分 ディスカッション

主催：島根大学法文学部山陰研究センター、日本地域経済学会

共催：島根大学

—自由論題報告会(2018.12.9)—

※各分科会の時間割

【前半】 9:00～10:30

【後半】 10:30～12:00

※各報告者の持ち時間

45分(報告25分、質疑18分、交代2分)

【第1分科会: 地域産業と中小企業】

教養講義室棟2号館 2階 501号室

●座長: 長山 宗広 (駒澤大学)

- ・第1報告 渡部 いづみ (浜松学院大学)
「浜松地域の繊維企業の挑戦」
- ・第2報告 奥山 雅之 (明治大学)
「織物産地の地域イノベーションシステムに関する一考察
—産地特性とイノベーションバリアとの関連性—」

●座長: 小田 宏信 (成蹊大学)

- ・第3報告 佐々木 経司 (金沢大学大学院 人間社会環境研究科 博士後期課程)
「中小企業支援システムの地域的制度構築に関わる比較分析」
- ・第4報告 上野 敏寛 (京都大学経営管理研究部 京都ものづくりバレー構想の
研究と推進 (JOHNAN) 講座研究員)
「福井県鯖江における眼鏡枠産地からチタン精密加工技術集積地域への
再編—産地構造分析から地域産業システム研究へ—」

【第2分科会: 社会的課題と地域】

教養講義室棟2号館 1階 401号室

●座長: 後藤 和子 (摂南大学)

- ・第1報告 五十川 龍 (駒澤大学大学院生)
「創業機運を醸成する地域プラットフォームについての一考察
—鎌倉地域の「カマコン」を事例に—」
- ・第2報告 西 孝 (近畿大学工業高等専門学校)
「小規模地域におけるソーシャル・イノベーション
—文化資本による地域づくりの視点から (仮) —」

●座長: 高山 一夫 (京都橘大学)

- ・第3報告 清水 芳行 (北海道情報大学)
「北海道旧産炭地における医療供給体制の変遷」
- ・第4報告 今田 彰 (医療経営研究センター・コンタクス、大阪市立大学大学院
創造都市研究科)
「住民自らの“声”と“資金”で、新たな医療福祉施設を誕生させたま
ちづくりについての考察—名古屋南生協病院を事例として—」

【第3分科会：都市・地域における産業・生活空間】

教養講義室棟2号館 1階 402号室

●座長：豊福 裕二（三重大学）

- ・第1報告 三重 遷一（大阪経済法科大学）
「新景観政策と京都市中心部におけるマンション建設市場の変容」

- ・第2報告 並木 州太郎（龍谷大学大学院政策学研究科博士課程後期）
「臨海工業都市における高度工業化の分析
ーオランダ・ロッテルダムの港湾・製造業集積を事例としてー」

●座長：千葉 昭彦（東北学院大学）

- ・第3報告 万 華（三重大学地域イノベーション学研究科博士後期課程）
「中国深圳市の都市化と住宅市場」
- ・第4報告 小巻 泰之（大阪経済大学）
「過疎化・高齢化が進展する小地域での共同売店の維持可能性」

【第4分科会：セッション 地域ネットワークによる経済循環の形成】

教養講義室棟2号館 1階 404号室

- ・第1報告 藤本 晴久（島根大学）
「地域経済を牽引する地域商社の役割とその成果」
- ・第2報告 水島 和哉（京都大学）
「近代伏見の都市形成と酒造業」
- ・第3報告 倪 弁（立命館大学）
「中国西南部地域における伝統産業の空間構造と地域ネットワーク」
- ・第4報告 池島 祥文（横浜国立大学）・三輪 仁（九州国際大学）
「企業間取引データに基づく地域間資金フローとそのネットワーク構造」

★ 報告者へのお願い

講演要旨集を作成いたしますので、10月末までに研究内容をA4サイズ3頁までにまとめて事務局に提出してください。締め切り厳守でお願いいたします。

「働き方改革」と地域経済

グローバル化の中で日本経済の労働生産性は低迷し、1人1人の付加価値生産力を高める知識経済化に立ち遅れている。日本は欧米諸国と比べて働き方が硬直的で、ワークライフバランスや男女共同参画の取組みも遅れていると言われる。一方で、新自由主義的な制度改革によって、非正規雇用問題、過労死・過労自殺問題、ブラック企業問題などが噴出し、日本経済の疲弊の焦点の1つは「働き方」にあるとされる。これに対して政府は、本年7月、同一労働同一賃金、脱時間給制度、長時間労働是正などを柱とする、いわゆる「働き方改革」法案を国会で成立させたが、裁量労働制の対象拡大が象徴するように、むしろ労働強化につながるとの批判も強い。

地域経済の視点から見たとき、人材の育成と活用は、地域発展のための決定的な要素の1つである。ところが現状では、地方では「働き方」の選択肢が限られ、仕事と若者の流出に苦悩するとともに、雇用機会の偏りは地域間格差や地域内格差の拡大の要因となっている。「創造社会」の裏側では、垂直的組織に統括されて「自発性」を搾取されているクリエイターや自営業者層がいる。一方で、競争社会の「働き方」に疲れた人々が、ローカルな生き方をあえて選択し、新しい「働き方」を模索する動きも存在する。このように、現代では「雇用」という概念だけではとらえきれなくなってきた「働き方」をめぐる複雑な社会状況がある。時代は過渡的で政策的にもまだ議論が錯綜しているが、まずは地域の現場から、多様な「働き方」の実態を掴み、実効性のある地域雇用政策を検討しなければならないだろう。

今回の共通論題では、「働き方改革と地域経済」をテーマに、次のような問題を考えていきたい。

(1) 現代の雇用問題を地域的・空間的視点から理論的・実証的にどう捉えるか。(2) 日本的な雇用関係の抱える危機に対して「働き方改革」はどのような影響を及ぼすか。(3) 「やりがい搾取」と呼ばれるような社会的矛盾の構造が各地で広がっている現状をどう考えるか。(4) ローカル志向の新しい生き方と「働き方」問題はどうかつなげていくか。現代の疲弊した日本的制度を地域から立て直していく論点の1つとして、「働き方」から考える地域経済学を議論してみたい。

パネリスト

中澤高志 (明治大学) 戎野淑子 (立正大学)

岩佐和幸 (高知大学) 松永桂子 (大阪市立大学)

コメンテーター&コーディネーター

伍賀一道 (金沢大学名誉教授) 佐無田光 (金沢大学)

—懇親会（2018.12.8）—

懇親会場はホテル白鳥です。大学から懇親会会場までは、貸切バスで向かいます。

懇親会終了後は、松江駅方面へはホテル白鳥のバスが利用できます。また懇親会会場は松江しんじ湖温泉駅のそばですので、タクシーの利用にも便利です。

—エクスカージョン（2018.12.10）—

集合場所：JR 松江駅

集合時間：8時30分にバスで松江駅を出発します。

参加費：昼食代2000円のみ

雲南市吉田町内で（株）吉田ふるさと村を視察したのち、たたら製鉄で栄えた吉田の町並みと国の重要民俗文化財に指定される菅谷たたら山内を見学します。昼食には旬の野菜と山菜がたっぷりの郷土料理バイキングをお楽しみください。



【懇親会/エクスカージョンに関する注意事項！】

- 1) 懇親会/エクスカージョンの参加について、手配の都合上、当日の申し込みは受付できません。必ず返信用ハガキをもって申し込みをしていただくようにお願いします。
- 2) 予定変更で懇親会/エクスカージョンの参加を申し込みする場合は、12月5日（水）まででしたら受付できます。大会の出欠はがきで申し込みをされなかった方は、大会実行委員会（現地問い合わせ先）まで申し込みの連絡をお願いします。
- 3) 懇親会をキャンセルされる場合は、必ず12月5日（水）までに大会実行委員会（現地問い合わせ先）へ連絡をお願いします。
- 4) 当日のキャンセルはできませんので、参加費（5000円）を請求させていただきます。

—その他のご案内—

1) 返信用ハガキ

大会参加に関わる返信用ハガキを同封しております。11月9日（金）までに投函して頂くようよろしくお願い致します。

宿泊数もご記入頂くようよろしくお願い致します。

2) 託児所開設について

島根大学内に、学会参加者用の託児所を12月8日と9日の二日間開設します。学内には託児施設はありませんが、大学内に託児に適した場所を借りて、託児サービスを請け負ってもらえる事業者を紹介してもらっております。

希望の会員がおられましたら、学会事務局（北海学園大学：濱田）まで早めにご連絡ください。10月末をもって締め切りとさせていただきます。

3) 昼食について

12月8日は、学内生協食堂は営業していますが、12月9日（日）は営業していません。

大学周辺にはコンビニや飲食店が複数ありますので、そちらをご利用ください。

4) 交通機関情報

◆ 航空機を利用

JALをご利用の場合		ANAをご利用の場合	
東京（羽田）⇔出雲空港	約1時間25分	東京（羽田）⇔米子空港	約1時間20分
大阪（伊丹）⇔出雲空港	約1時間		
福岡⇔出雲空港	約1時間5分		
※出雲空港連絡バスで松江駅まで約30分		※米子空港連絡バスで松江駅まで約45分	

※松江駅から空港に向かうバスの松江駅出発時間は、飛行機出発時間の80分前（出雲空港、米子空港とも）です。

◆ 列車（JR）を利用

東京⇔松江（約6時間）	大阪⇔松江（約3時間20分）	福岡⇔松江（約4時間20分）
・東京→岡山・・・新幹線 ・岡山→松江・・・JR伯備線	・大阪→岡山・・・新幹線 ・岡山→松江・・・JR伯備線	・福岡→岡山・・・新幹線 ・岡山→松江・・・JR伯備線

◆ 高速バスを利用

東京（渋谷）⇔松江	約10時間25分
大阪（梅田）⇔松江	約4時間40分
岡山⇔松江	約3時間
広島⇔松江[特急便]	約2時間50分
福岡⇔松江	約8時間



□ JR松江駅からの経路

* 松江市営バス

北循環線内回り 島根大学前下車・・・所要時間約15分

島根大学・川津行 島根大学前下車・・・所要時間約20分

※他に「平成ニュータウン」「あじさい団地」「東高校」等もあります。

* 一畑（いちばた）バス

美保関（みほのせき）ターミナル行 島根大学前下車・・・所要時間約20分

マリンゲートしまね行 島根大学前下車・・・所要時間約20分

* タクシー・・・所要時間約10分

交通機関	出発駅	HPアドレス、電話番号
JR（特急やくも）	松江駅	https://www.jr-odekake.net/eki/timetable.php?id=0640734
空港連絡バス（出雲空港、米子空港）	松江駅	https://www.ichibata.co.jp/taxi-matsue/shuttle/
松江市バス	松江駅から島根大学前	http://matsue-bus.jp/wp-content/themes/matsuekk/pdf/rosen/tables_route_7-a.pdf
	島根大学前から松江駅	http://matsue-bus.jp/wp-content/themes/matsuekk/pdf/rosen/tables_route_7-b.pdf
タクシー（松江駅、大学周辺の一例）	一畑タクシー	0852-32-1828
	日本交通	0852-21-5127

日本地域経済学会 事務局
 北海学園大学 経済学部（濱田研究室）
 〒062-8605 札幌市豊平区旭町 4-1-40
 電話：011-841-1161（2736）
 メールアドレス：chiikikeizai60@gmail.com